



みやこ

市議会だより

第17号

平成21年6月議会



さくらんぼの収穫

— 新里地区墓目にて —

ビニールハウスのさくらんぼ園には、赤く熟したさくらんぼが数珠のように実っていた。冬に枝を選定、春につぼみを摘芽、受粉、実を摘果して育成し、6月末の収穫となった。

「ヤマセや梅雨で実割れ玉が多く、いつもの7割だ」と語る山口さん。夫婦で楽しそうにさくらんぼを摘んでいた。



はまなす

- 合併議案賛成多数で可決 … 2P～3P
- 6月補正予算 …… 4P
- 一般質問 …… 5P～10P
- 議会基本条例・
議員政治倫理条例可決 …… 11P
- 議会の動き …… 11P
- 傍聴席・陳情・請願・
意見書・編集後記 …… 12P

合併議案、賛成多数で可決

賛成21名 反対7名

川井村との
1月1日合併決まる

宮古市議会は、6月12日の本会議において、川井村との関連3議案を賛成多数で可決しました。同日、川井村議会においても宮古市との合併同議案を全会一致で可決しました。

これにより、宮古市と川井村は、平成22年1月1日に合併（編入）することが事実上決定しました。

市議会で可決までの議論の主旨は、次のとおりです。

提案された合併3議案

▽宮古市及び下閉伊郡川井村の廃置分合に関し議決を求めることについて

▽宮古市及び下閉伊郡川井村の廃置分合に伴う財産処分に関する協議に関し議決を求めることについて

▽宮古市及び下閉伊郡川井村の廃置分合に伴う経過措置に関する協議に関し議決を求めることについて

以上の合併関連3議案を一括審議しました。

質疑に入り、田中尚議員から「住民の声を聞いていない」「住民投票をしないのは、参画、協働の理念に反する」などの質疑に答弁があった後、崎尾誠議員から「市民への説明不足や市民の判断を尊重すべき、採決は9月でも遅くないを理由にこの議案は、総務常任委員会付託とし、継続審議とすべきだ」との『動議』が提出された。起立採決の結果、10対18の賛成少数でこの動議は『否決』された。討論に入り『反対討論』を

長門孝則議員、竹花邦彦議員、田中尚議員の3名が行った。

『賛成討論』は、横田有平議員、佐々木松夫議員、加藤俊郎議員の3名が行った。

（両討論の要旨は後述）

『起立採決』の結果

賛成21名。反対7名。賛成多数で、合併関連3議案は原案どおり『可決』した。

（各議員の議案に対する対応は次項のとおり）

両市村は6月中に県へ合併を申請。官報告示を経て、1月1日に合併（編入）することが事実上決まった。

賛否の論点

反対討論

○長門孝則議員

川井村との合併は、宮古市のまちづくりの将来を左右す

る重大な問題である。住民説明会は、7カ所で38名の参加者だけであり、非常に残念に思う。もっと多くの市民に説明をし納得の上で議案を提案してほしかった。現時点で市民の意向の把握が不十分であることから今回の議案に反対する。

○竹花邦彦議員

私は、合併反対論者ではないが、合併は「まちづくり」の一つの選択肢であり手段である。そうした意味から合併協議会の中で期待されるメリットやデメリットをも含め協議してきたはずであり、住民に説明すべきだ。市長は大方の方が賛成という論理であるが、38名という参加者の中で判断できるのだろうか。宮古市における説明責任、丁寧な説明が行われたとは思えない。市長が言う、大方の方々は賛成しているとの判断には無理がある。住民の十分な意向把握、判断ができていないことを含め、この議案に反対する。

○田中尚議員

合併関連議案すべてに反対の討論を行う。今回の平成の大合併に伴う検証結果を受け止めて、川井村との合併がす

でに指摘されるデメリットの自治体という判断をするので反対だ。合併により行政の効率化があげられるが、弊害も少なくない。財政状況が悪い自治体同士による合併や、合併特例債のばらまきで財政はさらに悪化したり、面積だけ

が増え、周辺地域の衰退や公共サービスの低下を招いたケースもある。川井村の素晴らしい施策である出産祝い金や長寿祝い金が宮古市の例にならい、なくなる。また、反対の最大の理由は在任特例の摘要であり、編入合併という客観的見方をすれば、来年度の予算を見届けるというが、その必要はない。まさしく税金の無駄遣いであり、合併関連議案に反対する。

賛成討論

○横田有平議員

合併新法の期限、平成22年

3月を見据え、内館村長は昨年7月合併協議会設置申し入れをしてきた。それを受け、7月30日法定協議会を設置し、今年5月まで12回の協議がなされ5月28日、合併協定書に調印がなされました。

10年先の予測であるが、安定的な財政が確保され、市民サービスの低下はないとのことである。森・川・海が最大限生かされることが宮古市のメリットである。川井村の方々は「編入合併にもかかわらず同等の立場で会議に臨んでいただき感謝します」とのことであり、村長や議員の方々が合併の道を選んだことを評価し賛成する。

○佐々木松夫議員

私は、宮古下閉伊は一つであるべきと考えている。その第一歩が三市町村の合併であり、川井村との合併は二歩目と考える。川井村と合併すれば面積が広くなり、行政サービスが低下する、ということ

を耳にしますが、決してそうではない。広範囲を理由に行政サービスの低下することのないよう監視するのも議員の仕事であり、合併新法の期限内という事で有利に財源確保もでき行政運営に決してマイナスとはならない。編入合併という道を承知で決断された村長初め議員の皆様、村民の皆様は敬意を表し、新市建設のため力を合わせていくことを念願し、合併することに賛成する。

○加藤俊郎議員

宮古市は先の合併経験から協議会はスムーズに進行した。反対者は、住民投票をさせないなどを理由にしているが、市長が呼びかけ、指示するものではない。反対理由に無理がある。我々議員は市民の代弁者であると同時に市民のリーダーでもある。市政の伝達者でもある。無関心層が多いということは反省する。資源は

合併議案に対する各議員の対応の公表

賛成者（議席番号順）

・高屋敷吉蔵・宇都宮勝幸
・千束 諭・田頭久雄
・佐々木松夫・千葉胤嗣
・横田有平・山崎時男
・本田賢三・加藤俊郎
・近江勝定・佐々木勝
・城内愛彦・茂市敏之
・藤原光昭・松本尚美
・阿部 功・佐々木武善
・前川昌登・中嶋 榮
・中里栄輝・以上21名

反対者（議席番号順）

・山口 豊・工藤小百合
・崎尾 誠・坂本悦夫
・田中 尚・竹花邦彦
・長門孝則・以上7名



6月定例議会

緊急雇用創出事業委託料など

8,697万1千円を補正

別表

6月補正予算の主な事業

(単位：千円)

○ コミュニティ助成事業助成金	10,100
○ 通所サービス等利用促進事業補助金	13,900
○ 緊急雇用対策費臨時職員賃金	20,816
○ 緊急雇用創出事業委託料	21,589
○ 地元購買喚起事業補助金	3,400
○ 浄土ヶ浜周遊ボンネットバス運行事業委託料	2,000
○ 陸中海岸魚彩王国実行委員会負担金	2,000
○ 昭和思い出探し協働事業委託料	812
○ 奨学資金貸付金	2,580

平成21年度一般会計補正予算(第二号)は、既定の歳入・歳出予算にそれぞれ8千697万1千円を追加し、歳入・歳出予算の合計を251億3百9万7千円とするものです。

歳入の主なものは、県支出金である緊急雇用創出事業補助金及び障害者自立支援対策臨時特例交付金・自治総合センターコミュニティ助成事業助成金・前年度繰越金などとなっています。

歳出補正に係る主な事業は別表のとおりです。



運行されるボンネットバス

宮古市緊急雇用 創出事業委託料

宮古市では、失業中の方などを雇い入れて新しく地域の発展につながる事業を実施するため、平成21年度から新たに民間事業者の自由な発想、ノウハウを取り入れるための提案事業を募集し、委託要件を満たす事業については委託契約により、事業を実施しようとするものです。

本事業の提案事業募集要項など細部については、産業振興部産業支援センターにお問い合わせ下さい。

宮古市緊急雇用 総合対策

○宮古市は、国の雇用対策関連の交付金を活用し、離職者再就職支援事業の第2期分として55名の離職者を対象に7月より12月までの6カ月間の再雇用を計画しました。

○臨時職員の新規雇用として、マイマイガ駆除4名・浄土ヶ浜園地ガイド4名・宮古運動公園管理事業2名のほか6名の雇用を行うとともに、継続雇用する36名を含め7月の雇用は合計で52名の予定です。

可決された議案

▽平成21年度宮古市一般会計補正予算
(第2号)

▽平成21年度宮古市介護保険事業特別会
計補正予算(第1号)

▽宮古市及び下閉伊郡川井村の廃置分
合に関し議決を求めることについて

▽宮古市及び下閉伊郡川井村の廃置分
合に伴う財産処分に関する協議に関
し議決を求めることについて

▽宮古市及び下閉伊郡川井村の廃置分
合に伴う経過措置に関する協議に関
し議決を求めることについて

▽宮古市議会基本条例

▽宮古市議会議員政治倫理条例

▽宮古市議会議員政治倫理条例施行規
則

▽宮古市固定資産評価員の選任に関し
同意を求めることについて(同意)

▽人権擁護委員の推薦に関し意見を求
めることについて(適任)

一般質問 ◆◆施策を問う◆◆

6月9日から11日までの3日間、一般質問が行われました。
質問者は11名で、合併問題、観光振興、雇用経済対策について熱
い議論が交わされました。
その要旨を紹介します。

質問 3市町村合併の検証はどうか

答弁 合併は正しい選択と確信している

加藤 俊 郎



問

4年前に旧宮古市、旧田老町、旧新里村は合併したが、その合併を主導した熊坂市長がこの七月に勇退するにあたり、市長みずからの合併の検証はどうであるか伺う。

答

熊坂市長

この四年間、新市の将来像を実現するために、新市建設計画で定めた施策を着実に実行するとともに、市政の運営に当たっては「改革なくして合併なし」を合言葉に、徹底した行財政構造改革を断行し健全財政を維持しつつ、新しいまちづくりに取り組んできた。

新市を経営する2本の柱として子育て支援と産業振興を設定したが、各種施策によって、未来を担う子どもたちを安心して産み、育てることができたものと評価できるし、産業振興についても、この4年間の中で、できること、すべきことは行い、着実に成果は上がっている。

地域協議会は単なる審議機関、地域創造基金の審査機関としてだけでなく、独自の活動を行うなど機能を果たしている。

財政的には「早期健全化基準値」を下回っている。また財政調整基金は増額しており、健全



新築された小山田保育所

な財政運営が行われている。合併を総合的に評価すれば、合併以後4年間にわたり、市民と行政が一体となった協働のまちづくりを目指しながら、質の高い公的サービスを提供し続けるための基盤づくりに取り組んできた。

そのことが、合併の成功事例として高い評価につながったと思う。健全な財政運営のもとに、着実に新しいまちづくりが進展しており、3市町村の合併は、私自身でも正しい選択であったと確信している。

質問 夏のマイマイガ発生予測と対処法は

答弁 大量発生を予測し早期の駆除を

千 東 諭



問

昨夏のマイマイガ大量発生は市民に大きな不快感を与えた。特定の場所に青い光の集合体をつくり、誘導駆除できないか伺う。

答

熊坂市長

今後、駆除要員の確保と掃除機、洗浄機などを購入し、関係機関や市民と連携し駆除作戦を行う。

問

グリーンピア田老は368ヘクタールの広大な敷地に種々の施設が整備されており、これらが有効に生かされてこそ大きな財産となる。健康志向を背景に国内最大級のパークゴルフ場を整備し、既存施設と併せ多彩なスポーツイベントを開催してはどうか。また、宿泊施設の公募状況を伺う。

答

熊坂市長

公募期間内での応募はなかった。国際協会認定のパークゴルフ場は北海道を中心に280カ所ある。グリーンピア田老の広大な敷地を整備し、交流人口を拡大する議員の提案は一つのアイデアだ。宿泊施設と屋外施設の役割や相乗効果が発揮できるように検討する。

問

熊坂市長は、3期12年の任期を終わるが、これまでの卓越した行政手腕と、市



存続が望まれるグリーンピア田老

答

熊坂市長

政発展に心血を注がれたことに深甚なる敬意を表する。在任中の思い出と退任に当たつてのメッセージを伺いたい。

思い出は尽きない。旧三市町村合併や自治基本条例の制定、産業支援センターの設置、道路・港湾などのインフラ整備などたくさんあるが、タラソテラピー施設の裁判など思い悩むケースもあった。非常に幸せな12年間で、皆さまに感謝の気持ちでいっぱい。今後の宮古市が持続可能な自治体として歩むことを願い、参画と協働、豊かさゆとりを実感し、個性と能力が発揮されるまちであることを期待している。

質問 財政基盤弱化の合併は自立に逆行

答弁 スリムで効率的行政が目的

田 中 尚



問

平成の大合併で宮古市の人口が増えたのは合併時だけで川井村とのさらなる合併は面積だけがやたらと広い、全国でも

答

熊坂市長

前回の三市町村合併は基礎的自治体として、公的サービスの質と量の維持向上に努めるため、自立した自治体と簡素で効率的な行政の実現を目指した。今回の合併もこの考えに変わりはなく、スリムで効率的な行政を実現し、合併メリットを生かし、きめこまやかなサービスを次の世代に引継ぐためと考えている。

問

■庁舎の拡大による諸問題は

総合支所及び分庁舎方式は本来の合併による組織の効率化に反し、役場経済論の根拠を裏付けるものだ。役場経済論というのは地方都市では経済を支える最大産業が役場

答

熊坂市長

との意味に理解願いたい。合併の効率が期待できない合併は必要性がなく、すべきでない。庁舎と住民及び通勤距離の拡大で通勤手当ての変化はどうか。編入合併の影響見込み額はどうか。合併の目的の一つは行政費用の節減であるが、住民サービスの維持・向上等住民の利便性も考慮しなければならない。平成19年度に田老庁舎に産業振興部、新里庁舎に教育委員会を配置し、通勤距離が長くなったことで通勤手当ては前年度に比較して403万円増加した。川井村の見込みは職員配置がされていないので、どの程度かは未定だ。



合併が決まった川井村の庁舎

質問 なぜ、あせるように今議会の提案か

答弁 住民懇談会などの終了による提案だ

崎尾 誠



問

今回の合併は、協議会で決めたように22年1月1日に合併するとしても、県議会の議決が9月定例会に行えればよいことになる。それまでに川井村及び宮古市で議決を行えば十分に間に合うはずだ。

自治基本条例を提案した市長の精神から見ても、もっと時間をかけて市民に説明し、市民の理解を得られるような手立てと時間が必要と考えるが、なぜあせるように今議会の提案になるのか改めて伺う。

答

熊坂市長

協議会の終了、県協議、住民懇談会の終了により、提案するものだ。

■雇用・経済対策について

問

中小・零細企業が大変な事態に追い込まれている。宮古市でもそのような零細企業にも少しでも仕事が回るように小規模工事等希望者登録制度がつくられたが、この制度に登録している業者と発注件数などの推移を伺う。また、この制度の評価と問題点を伺う。

答

吉水産業振興部長

登録社数は18年度40業者、19年度45業者、20年度51業者で、



合併住民説明会

問

3年間の1業者あたりの平均発注は2.8件で、額は7万5千円となっている。登録業者への発注件数が少ないので今後は各課、各施設に対し再度周知を図り拡大に努めたい。

答

吉水産業振興部長

一次産業の基礎力を高め、その資源を利用して各産業と連携し、複合型の産業創出が大切と認識している。

質問 新たなイベントの開催で誘致を

答弁 体験型観光の充実に努める

阿部 功



問

今年、春の大型連休中の浄土ヶ浜への観光客は久しぶりに5万4千人を超す状況となったが、各種イベントの開催など、今後の観光客誘致に向け生かせる成果や反省点はなかったか。

答

熊坂市長

4月29日から5月6日までの8日間の観光客の人数は県内平均で、前年同期比5.6%の増となり、当市の浄土ヶ浜は入り込み数5万4千400人、20・1%の増となっている。これは、5連休と好天に恵まれたことに加え、ETC休日割引の実施が大きな要因と考えている。また、「番屋サッパ船祭り」を展開した北山崎の入り込みが、対前年比23・6%増と大きく伸び、龍泉洞も4.9%増となるなど近隣の観光地の誘客との相乗効果もあったものと考えている。来々4月の浄土ヶ浜レストハウスやビクターセンターのオープンを大きな契機として関係団体と一体となり観光地としての魅力向上に努める。

■信号機等の早期設置を求める

問

市内における信号機や横断歩道等の設置が必要とされ、県公安委員会に上申さ

答

石村市民生活部長

市では、交通安全施設等に関し、市民から出された要望は、関係機関との現地確認のあと、県公安委員会、道路管理者に要望しその実現に努めている。平成20年度宮古警察署管内では信号機の新設を3件上申ししたが、実施されたのは、金浜地内の45号から建設中の高規格道路へアクセスする交差点の1カ所であった。また、通学路等の安全対策の観点から信号機の設置については、学校や地域の意見を聞き関係機関と連携しながら速やかな設置に努める。



毛ガニ祭り直売所の様子

れながら、いまだ設置されていない地域が多数あるが、市ではどのように取組んでいるか。

質問 細菌性髄膜炎に公的助成を!!

答弁 国の動向を注視し検討する

中嶋 榮



問

①細菌性髄膜炎に対する自治

体の関心が高いが、当市の見解を伺う。②ヒブワクチンの予防接種を宮古市独自の事業にできないか熊坂市長に伺う。

熊坂市長

答

①細菌性髄膜炎は、種々の細菌感染による髄膜の感染で発熱、頭痛、嘔吐が特徴。インフルエンザ菌B型が半数以上と言われている。小児感染症の一つで、年間600人以上の乳幼児が罹患し、このうち約5%が死亡20%以上に聴覚障害や発達の遅れなど後遺症が残る疾患だ。②ヒブワクチンは海外で既に20年以上の接種実績があり、世界保健機関でその有効性と安全性を評価し、定期接種を推奨して世界100カ国以上の国々で予防接種として実施されている。日本ではさらに有効性、安全性の面から検討するとし、当市も国の動向を注視し助成事業化を検討していく。

■ドクターヘリの早期導入を!!

問

広大な面積を有する岩手県は、山間部が多く、盛岡まで2時間、冬期はより以上時間がかかる。昨年の宮城・岩手内陸地震ではヘリが活躍し



活躍する防災ヘリ ひめかみ

答

熊坂市長

県はドクターヘリ導入について、県土が広い本県において、重篤患者の救命率向上に極めて有効な対策とする一方で、ヘリの配備先に望ましい岩手医科大学付属病院隣接地はヘリポート整備が困難とか、常駐医療スタッフの確保に課題があるとしている。宮古病院には常勤の循環器医師も不在、深刻な医師不足で病床数も削減される本県において、ドクターヘリの導入に進展がないことは誠に遺憾であり、今後も県や国に早期導入を要望していく。

た。ヘリは迅速な機動力と医師や病院の不足を補い、医療過疎をなくし、救命効果を高めるが、当局の見解を伺う。

質問 入札について

答弁 総合評価落札方式を検討する

茂市敏之



問

設計業務委託の入札で、ダン

ピング入札が続いている。このような状態で正しい設計だと、担当課で確認することが可能なのか。確認できる職員は何人いるか、また確認できるようになるまで研修に投資するべきと考えるがどうか。

答

熊坂市長

設計等の内容に関して、成果物技術上の照査を行う技術者を定めて照査しており確認可能と考えている。他の部署に所属する建築技師も担当している。足りない場合は外部の者を委嘱して対応したい。また新しく採用する職員には、研修など経験を積ませている。

問

工事に入ってから設計ミス、材料の見落としがあった場合、どう対応するか、業者を泣かせることのないように追加補正して出すべきだ。

答

資材の見落とし等は、甲乙協議して設計変更を行う。増額が必要な場合は、設計変更して対応する。

問

土木や建築工事の入札は、不景気であることから他市町村と同様に、市内業者だけに入札指名すべきと考えるがどうか

答

今後は、総合評価落札方式の導入を検討しているが市内業者だけについては、もう少し検討する。



改築が望まれる浄土ヶ浜ターミナルビル

■浄土ヶ浜のリニューアルについて

問

浄土ヶ浜運営協議会は浄土ヶ浜をよくするため、の話し合いがなされていない。旭山動物園のように常に前向きな気持をもってほしい。また公衆トイレはすべて水洗化すべきだ。

答

吉水産業振興部長

指摘のとおりと実感している。今年がよい機会だと思っているので、市の方でも指導、支援をしていきたい。トイレの水洗化については、今年度中に実施できるように検討したい。

質問 資源ごみの収集回数の増を

答弁 10月からの実施見直しを検討

竹花 邦彦



紙製・プラスティック製・白色トレイの容器包装類の分別収集、リサイクルが4月から始まったが、家庭では可燃ごみの排出量が大幅に減少したものの、容器包装のごみの量は予想以上に多く、その保管に苦慮している現状にある。

また、資源ごみ収集日には、地域の集積所にごみが入りきらない状況も見受けられる。こうした現状の改善に向け、資源ごみの収集回数を増やすことを検討し、早期の実施を望むが、市の対応と考え方を伺う。

熊坂市長

容器包装廃棄物収集などの現状及び地域懇談会での意見、要望を踏まえ、早い時期に収集回数の見直しを行いたい。

問

早い時期に見直しを行いたいとの市長答弁だが、現段階ではいつ頃の見直しや、実施を想定しているのか。

答

波岡環境課長
実施に伴う予算、収集体制の確保などの問題もあり、10月をメドに見直しを考えている。

問

川井村との合併課題について、多くの宮古市民は、



資源ゴミ収集日のゴミ集積所

将来の財政負担や現行サービス水準の維持などへの不安を抱いている。「負担は低い方に、サービスは高い方に」という合併メリットは川井村には大きいものがあるが、宮古市にとっては財政負担を大きくする。市民の不安、懸念に対して市長は丁寧な説明責任を果たしているとは思えない。合併によって財政負担増となる施策とその額などについて具体的に示されたい。

答

熊坂市長

単年度当たり、水道料金約1200万円、防犯灯の維持管理費約265万円などが見込まれるが、合併効果による経費削減額で吸収可能であり、将来の市民負担やサービス水準への影響はないものと考えている。

質問 結果を出せなかった反省と検証

答弁 各分野で様々な施策を実施した

松本 尚美



問

経済と雇用において結果を出せなかった熊坂市政の反省と検証が「再生宮古」に必要と考える。明確で責任ある答弁を期待する。

答

熊坂市長

地方都市のみならず、国全体の経済が悪化し、極めて厳しい状況となっている。これまでも地域の活性化のために各産業の分野で様々な施策を実施してきた。

問

市民、事業者は市長のようにならざるを得ない。社会の上位に位置する人だけではない。今日一日どうやって生きるか。明日の決断をどうするか。苦悩しながら生きている生活者、事業者が多くいる。ピンチをチャンスにするためにも認識を共有し、スクラムを組んで進む、まさに市民目線での市政推進を期待した。なぜそういった市民、事業者の声が市長に届かないのか、聞こえないのか。夫婦で職を失った市民や、窓口で一時負担が払えなく子供を病院に連れて行けない親がいることを、また市税や町内会費をどうしても払えない市民がいることを、さらには倒産回避を命の精算で思いつめている事業者

答

熊坂市長

今後各施策を継続しながら、社会経済状況に速やかに対応していくべきと考える。

が、市民生活を最優先で守らなければならぬ行政と市長は今何をすべきと考えているのか。現状に至った責任を全て市長に求めるものではない。しかしながら、市長は就任時の宮古市を「出口の見えないトンネルに入っている状況」との分析をし、公言された。経済と雇用の状況は歴然と今日に比較し格段に良かったのである。頭脳明晰で、まれに見る理論家といわれる市長が、なぜ現状を理解できないのか。



空地になったままの店舗跡地(末広町)

質問 シーアリーナに冷房設備を！

答弁 設置する方向で検討します

城内愛彦



宮古市民総合
体育館の施設整
備の拡充のうち冷房設
備の必要性について伺
う。

答 熊坂市長
22年8月にミニ

国体レスリング競技と23年8月
のインターハイ、レスリング会
場として決定していることから、
「地域活性化・経済危機対策臨
時交付金」の活用を含め、冷房
設備を設置する方向で検討する。

■運動公園野球場への交通アクセスを

運動公園野球場改築に
伴う駐車場不足と、アク
セスの不便さについて伺う。

答 熊坂市長
第61回岩手県高等学校総

合体育大会硬式野球競技に利用
いただいた際、県内外から多く
の高校野球ファンが来場し、予
定した駐車場では対応できなく
なり、急きょ周辺の民有地など
を臨時駐車場として確保した。
今後このような来場者が多く見
込まれる大会については、駐車
場を増やすなど十分な対策を考
えていく。また、アクセスにつ
いては、公共交通機関の利用促
進を図るなど、対策を考える。

問 市内の各公園のユニバー
サルデザイン化の必要性

について伺う。
佐藤都市整備部長

答 公園は、高齢者、障害を
持つ方、乳幼児連れの方などを
含め、多様な利用者がいろいろ
な目的を持って過ごす施設であ
ることから、すべての人の使い
やすさに配慮する必要があると
考える。

しかし、ユニバーサルデザイ
ンの観点からすれば、すべての
利用者が支障なく使えるという
状況になっていないことから、
改善が必要と判断される。14の
都市公園について、段差の解消、
園路の整備などの改修を図るべ
く、今年度内の事業着手に向け
て取り組みを進める。



シーアリーナのトレーニング室

質問 人口減少の歯止め対策を示せ

答弁 就職支援・子育て環境を充実

横田有平



宮古市の人口
は昭和55年に6
万2千人でピークを迎
えた。その後減少を続
け、平成17年田老、新里
との合併により6万人
となった。しかし、出生率の低
下や社会的要因で毎年800人
前後減少を続けており、国保な
ど社会保障制度などの維持に不
安がある。歯止め対策はないか。

答 熊坂市長
少子高齢化は活力低下を
招き深刻だ。当市は20代の市民
が50代の市民の半数でいびつな
人口構成となっている。若年層
の就職並びに子育て支援の充実
強化に意を注ぎたい。

■資源物リサイクル率を高めよ

問 4月1日より新しく紙
製品、プラ、トレイの収
集が始まった。市民と協働によ
る成果に期待するが次を伺う。

一、資源物回収の達成率は。
二、収集業者の民間委託は。
三、回収した資源物の対価と
経費はどうなっているのか。
四、ゴミの有料化はあるのか。

答 熊坂市長
リサイクル率は16・6%
で計画どおりだ。直営車両が7
台、委託は4台。収集費用は9
千6百万円、対価は5千百万円、

有料化については考えていない。



子育て支援室

問 合併してちょうど4年
になるが重要施策として
取り組んだ子育て支援と産業振
興の成果をどうとらえているか。

答 熊坂市長
子育て支援については、
重茂児童館、小山田保育所整備、
また、病後児保育、ファミリ
サポートセンターを開始、保育
料の軽減も行った。待機児童も
ゼロとなり今後小中高を支援す
る。産業振興については第1次
産業を中心に着実に成果を上げ
た。中小企業には融資を拡大し
たほか、平成19年度には産業支
援センターを立ち上げ、相談機
能を高め事業者の支援を力強く
推進した。

議会基本条例・議員政治 倫理条例可決される

宮古市議会基本条例及び宮古市議会議員政治倫理条例が可決されました。

市議会では、議会だより臨時号を発行し市民への周知を図るとともに、地区説明会と意見公募の実施を経て、今定例会初日6月5日の本会議において全会一致で可決されました。

議会基本条例の目的は、議会及び議員の活動原則、役割を明らかにし、市民の信託に応えていくこうとするものです。

議会基本条例の特徴的内容は、議会の活動、役割として、次の事項が掲げられます。

- 1 市民の監視及び評価という執行機関のチェック機能にとどまらず、政策立案及び政策提言を行う機能の発揮
- 2 議会に関する会議は、原則公開とし公正性、透明性の確保と市民への説明責任
- 3 市政全般にわたって議員と市民が自由に意見交換を行う議会報告会の開催
- 4 議会審議では、市民にも分かりやすく質疑応答を一问一答方式で行い、市長や執行機関の職員への反問権の付与
- 5 議案に対する各議員の対応(賛成・反対)を議会だよりで公表

議員政治倫理条例は、地位利用による不正な影響力行使を禁止するとともに、不正の疑惑、政治的及び道徳的責任の批判を受けることのないよう倫理基準を定めたものです。

また、議員が自ら事業を営んでいる場合、市の許可が必要な事業を営んでいる場合や市から補助金等を受けている(受けようとする)法人、団体の役員に就任している議員には、「兼業報告」を義務付けました。

議員の政治倫理基準違反に対しては、市民または議員が議長に「調査請求」することが出来ます。

宮古市議補選に落合氏が当選

6月28日に行われました宮古市議会議員補欠選挙において、落合久三氏(61歳・磯鶏沖)が当選しました。



任期は、平成21年6月29日より平成22年4月30日までです。

※総務常任委員長長の議員辞職に伴い、千束諭氏が総務常任委員長に選任されました。

議会の動き「2月～5月」

2月

3月定例会本会議／総務常任委員会／議会運営委員会／教育民生常任委員会／経済常任委員会／建設常任委員会

3月

食育・地産地消推進議員連盟全体会議／建設常任委員会／経済常任委員会／予算等特別委員会(5回)／鵜ヶ崎地区津波対策要望／議員全員協議会／第9回宮古市・川井村合併協議会／3月定例会本会議／議会広報編集特別委員会(2回)／議会運営委員会(3回)／岩手県沿岸知的障害児施設組合議会3月定例会／宮古地区広域行政組合議会3月定例会／教育民生常任委員会

4月

教育民生常任委員会／岩手県市議会議長会第1回理事会／岩手県市議会議長会定例総会／岩手県市議会議長会視察／議会広報編集委員会(2回)／地産地消推進議員連盟総務部会(3回)／議会基本条例等に係る地区説明会(3回)／第4回宮古市市民総合体育大会開会式／第61回東北市議会議長会定例総会／第10回宮古市・川井村合併協議会／宮古市重茂南部簡易水道通水式／第4回宮古市身体障害者福祉会定例総会／いわての過疎に挑む総決起大会／議会運営委員会／小山田保育所落成式／千鶏小

5月

学校屋内運動場落成記念式典／総務常任委員会／議員全員協議会／会派代表者会議／経済常任委員会

議員全員協議会(4回)／議会運営委員会(4回)／岩手県三陸自動車道整備促進期成同盟会総会／国道45号岩手道協議会総会／宮古広域圏地域情報交換会／三陸北縦貫道路県道小本間整備促進期成同盟会通常総会／宮古港利用促進協議会総会／第11回宮古市・川井村合併協議会／教育民生常任委員会(3回)／国道45号整備促進期成同盟会通常総会／総務常任委員会／5月臨時議会本会議(2回)／国道106号指定区間編入促進期成同盟会／宮古・盛岡・秋田間国道整備促進期成同盟会総会／宮古道路をまもる会定時総会／三陸北縦貫道路整備促進期成同盟会総会／三陸国道事務所への要望／宮古運動公園野球場リニューアルオープン記念式典／暴力追放宮古地区県民会議総会／岩手県漁港漁村協会通常総会／宮古地区広域圏鉄道対策協議会総会／全国市議会議長会第85回定期総会／道路関係6団体合同要望(6回)／宮古市道路整備促進協議会総会／第12回宮古市・川井村合併協議会・合併協定調印式／市議会議員共済会第98回代議員会／平成21年5月宮古地区広域行政組合議会臨時会

願陳情意見書

請採択された請願

○請願第16号
義務教育費国庫負担制度の存続と改善充実を求める請願
請願者 岩手県教職員組合

○請願第17号
支部長 熊谷智光
義務制第8次・高校第7次教職員定数改善計画の実施と教育予算拡充を求める請願
請願者 岩手県教職員組合

○請願第19号
支部長 熊谷智光
海事地域(港町・船員)の活性化に関する請願
請願者 全日本海員組合

地方支部長 菅原知巳
東北地方支部

○請願第20号
家族従業者の人権保障のため「所得税法56条の廃止を求める意見書」採択を求める請願
請願者 宮古民主商工会婦人部

継続審査となった請願

○請願第18号
肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する請願
請願者 岩手県保険医協会

可決された意見書

○意見書案第49号
国直轄事業負担金に係る意見書
提出者 中嶋 榮

○意見書案第50号
ハローワーク機能の抜本的強化を求める意見書
提出者 中嶋 榮

○意見書案第51号
二〇一〇年度地方交付税等の充実・強化を求める意見書
提出者 竹花 邦彦

○意見書案第52号
所得税法第56条の廃止を求める意見書
提出者 総務常任委員会

○意見書案第53号
義務教育費国庫負担制度の存続と改善を求める意見書
提出者 教育民生常任委員会

○意見書案第54号
義務制第8次・高校第7次教職員定数改善計画の実施と教育予算拡充を求める意見書
提出者 教育民生常任委員会

○意見書案第55号
海事産業等の活性化に関する意見書
委員長 城内 愛彦

提出者 経済常任委員会
委員長 横田 有平

○意見書案第56号
一般国道106号「都南川目道路」の整備促進に関する意見書
提出者 建設常任委員会

○決議案第2号
北朝鮮の核実験に抗議する決議
提出者 総務常任委員会

編集後記

6月定例議会の一般質問では、今定例議会を最後に、3期12年で勇退をされる熊坂市長に対して、最後まで厳しい評価を展開した議員を初め、すべての議員から評価と、ねぎらいの言葉がつけ加えられるなどまさに、熊坂市長の「送別議会」となりました。今後は、医師として、地域医療の現場においても、再び活躍されることを心から期待するとともに、今後の参考のために、熊坂市政12年を振り返り、やり残したものはなかったのか、また、本音の部分についても、拝聴したい思いがする。

阿部 功

傍聴席

議場の上にある傍聴席から答弁者席と議席が見える。議員の顔を見ることはできないが、高い所から居並ぶ姿を一望できるのは傍聴者の特権みたいなもの。

私が傍聴した時は、観光客の誘致問題、温暖化対策、交通安全対策などであったが、持ち時間ぎりぎりまで真剣な議論が展開されて、張りつめた空気の中での議論は聞きごたえがあったし、大変勉強にもなった。

質問事項が事前に通告されているためか、原稿を見ながらの答弁が多くて聞いている側としては、いつものことながら物足りなさを感じている。

議席から行っている再質問の態様を主体とすれば、もっと分かりやすくなるのではないかと感じている。

田老町、新里村との合併以来、新しい街づくりを進めている宮古市にとっては、その課題も多く、一朝一夕に解決とはいかないことも多いようだ。

市民の生命と財産と生活を守るため、さらなる努力と健闘を心から期待している。

宮古市西町 森 健

傍聴者数

6/12(金)	6/11(木)	6/10(水)	6/9(火)	6/5(金)
8人	34人	15人	19人	4人

次回の9月定例議会は
9月中旬です

メールアドレス

gikai@city.miyako.iwate.jp